

ご自分にかたどって

2012/1/15

シリーズ～旧約聖書入門～

人間の創造＜創世記1:26～2:25＞

- 「神は言われた。『我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう。そして海の魚、空の鳥、家畜、地の獣、地を這うものすべてを支配させよう。』」神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。』」[1:26-27]
- 「主なる神は、土(アダマ)の塵で人(アダム)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。」[2:7]

特別な存在として造られた人間

- すべての被造物が完成した後で造られた
- 神に「かたどり」神に「似せて」造られた
 - ・「我々」という表現は、敬意を表す複数形
- 「男と女に」造られた
 - ・互いに関わりを持ちながら生きてゆく
- 他の被造物を支配する責任
- 土の塵で形づくられ、神から「命の息」を吹き込まれた
 - ・神の霊によって生かされている

神に「かたどり」「似せて」とは？

- 原語（ヘブライ語）では“ツエレム”（かたち），“デムース”（似る）
 - ・ ツエレムは、「像，鑄像，肖像」などに訳される
 - ・ “デムース”は、「図面，似姿，似たもの，姿」などに訳される
- 神とは全く別の存在であるが，強い影響を受け，類似点を持っている
 - ・ 人間の作り出す物はみな，人間に似ている
 - ・ 「神に僅かに劣るものとして人を造り／なお、栄光と威光を冠としていただかせ…」＜詩篇8:6＞

神に「かたどり」「似せて」の意味

- 独立した人格を持っている
 - 自覚があり，自由意志を持っている
- 知的存在である
 - 自ら考え，記憶し，判断する
- 倫理的（道徳的）存在である
 - 物事の善悪や，正義不正義を考える
- 関係をもつ存在である
 - 神と人，人と人とは**コミュニケーション**し，影響し合う
 - 愛を理解し，愛され，愛することができる

霊的な存在としての人間

- 肉体と心(知性)だけではない
 - 「健康とは身体的・精神的・**霊的**・社会的に完全に良好な動
的状态であり、たんに病気あるいは虚弱でないことではな
い。」＜1999年WHO理事会における健康の定義＞
- 存在論的問い
 - 「なぜ存在するのか」
- 目的論的問い
 - 「何のために生きるのか」
- 不条理の問い
 - 「なぜこんなことがおこるのか」

なぜ存在するのか

進化論

偶然の結果・理由なし

創造論

神が宝物として造られた

なぜ存在するのか

進化論

偶然の結果・理由なし

創造論

神が宝物として造られた

何のために
生きるのか

進化論

種を進化させ残すため

創造論

神の愛を受け・与えるため

なぜ存在するのか

進化論

偶然の結果・理由なし

創造論

神が宝物として造られた

何のために
生きるのか

進化論

種を進化させ残すため

創造論

神の愛を受け・与えるため

なぜこんなことが
おこるのか

進化論

誰にも分からない

創造論

共に苦しむ方がおられる